

令和３年度 国語総合 シラバス

科目名	国語総合	単位数	3 単位	対象 部・年次	1 ・ 2 部 1 年次
使用教材					
教科書等	『新編国語総合』（東京書籍）			副 教 材	『常用漢字クリア』（尚文出版） 『簡明 小倉百人一首』（尚文出版）
学習の目標					
国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。					
学習計画					
学期	学習内容		学習のねらい		
前期	・ルリボシカミキリの青（現代文）		・随想を読んで、筆者のものの見方や感じ方を読み取り、自己についても考える。		
	・生活体験発表作文（表現）		・高校生活の課題から、適切なテーマを探すということを理解する。		
	・川柳（表現）		・学校生活や日常生活を振り返り、身近なものに心を寄せ、その心情を表現する。		
	・ブックトーク（表現）		・お勧めの本を選び、本についての説明を考える。自分の発表について自己評価をする。他者の発表を聞き、評価をつける。		
後期	・とんかつ（現代文）		・表現の特色に注意しながら小説を読み、小説に親しむ。登場人物のおかれた境遇に注意しながら、その心情を読み取る。		
	・羅生門（現代文）		・登場人物の心情の変化を読み取り、物語の展開を理解する。		
	・古文入門 百人一首		・古文と現代文の違いを知り、古文を読む基礎を学ぶ。説話のおもしろさを通して、古文の世界に親しむ。		
	・児のそら寝（古文）		・漢文を読むためのきまりを理解する。		
	・訓読の基本		・格言や故事を読んで、漢文の世界に親しむ。		
	・守株（漢文）				
	・五十歩百歩（漢文）				
観点別評価及びその配点					
観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話しの確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	・出席状況、学習活動への参加姿勢や態度 ・学習活動内の発言内容や態度、レポート ・感想文などの作成した文章の内容 ・ファイル提出による学習進捗状況の確認。 ・漢字小テスト	・授業中の発問に対する発表の内容 ・生活体験作文やブックトークの発表の内容	・授業プリント・レポートの内容 ・生活体験作文への取り組み状況およびその内容 ・ブックトークの本の紹介文の内容	・授業中における学習活動への参加姿勢や態度、学習活動における発言内容や態度 ・古文の音読テスト ・定期考査の中に「読む能力」を問う問題を出題する。	・定期考査の中に「知識・理解」を問う問題を出題する。 ・北高検定
配点(pt)	2 0 0	1 0 0	1 0 0	1 0 0	5 0 0
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10 段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
1. 授業中に読解の方法・問題を解く手順を紹介するので、それを実践してみること。 2. 読む機会を多く持ち、様々な文に親しむこと。 3. 失敗をおそれず、発言の機会を得たときは積極的に挑戦すること。					

令和3年度 国語総合 シラバス

科目名	国語総合	単位数	2 単位	対象 部・年次	1・2 部 2 年次
使用教材					
教科書等	『新編国語総合』（東京書籍）			副 教 材	『常用漢字クリア』（尚文出版）
学習の目標					
国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。					
学習計画					
学期	学習内容		学習のねらい		
前期	・「未来を作る想像力」 ・生活体験発表作文の作成 ・詩「空をかついで」 ・ブックトーク ・「羅生門」（前半）		・作者の問題意識と解決策を読み取る。 ・必要な情報・知識を収集し、それを構成し文章にする力を養う。 ・他者の前で自分の作文を発表する力をつける。 ・詩の形式や用いられている比喩を理解し、詩の主題を読み取る。 ・お勧めの本を選び、本についての説明を考える。自分の発表について自己評価をする。他者の発表を聞き、評価をつける。 ・小説に描かれた 5 w 1 h を読みとる。下人の心理の変化を理解する。		
	・「羅生門」（後半） ・「用光と白波」 ・和歌・百人一首 ・漢文「借虎威」 ・「里山物語」		・全体の構図を的確にとらえるとともに、物語の展開を理解する。 ・古文のリズムをつかみ、慣れ親しむ。 ・和歌についての基本的な知識を身に付け、作品の情緒や作者の心情を理解する。カルタ大会に向けての練習をする。 ・句法を確認する。訓読をし、故事成語の成り立ちを理解する。 ・本文を読み、作者の問題意識を読み取る。環境破壊について考える。		
観点別評価及びその配点					
観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語の向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	・授業への取り組み学習姿勢や態度、出席状況など。 ・漢字小テスト ・授業ファイルの提出状況や内容	・授業中の発問に対する発表の内容 ・音読テスト・生活体験作文やブックトークの発表の内容	・授業プリントの書き取りやレポート、感想文などの、作成した文章の内容や書き取りテスト等	・学習活動における発言内容や態度 ・定期考査の中に「読む能力」を問う問題を出題する。	・定期考査の中に「知識・理解」を問う問題を出題する。 ・小テストの中に「知識・理解」を問う問題を出題する。 ・北高検定
配点 (pt)	200	100	100	100	500
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10 段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
1. 授業中に読解の方法・問題を解く手順を紹介するので、それを実践してみること。 2. 出来るだけたくさんさんの文に親しみ、読む機会を持つこと。 3. 失敗をおそれず、発言の機会を得たときは積極的に挑戦すること。					

令和3年度 現代文 A シラバス

科目名	現代文 A	単位数	2 単位	対象 部・年次	1・2 部 3 年次
使用教材					
教科書等	『現代文 A』(第一学習社)			副 教 材	『常用漢字クリア』(尚文出版)
学習の目標					
国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。					
学習計画					
学期	学習内容		学習のねらい		
前期	・「なぜ“コロンブスの卵”を描くのか」(随想) ・生活体験発表 ・ブックトーク		・文章表現や展開を的確に読み取り、主題を理解する。 ・日本語の豊かな表現を味わう。 ・筆者の考えを的確に読み取る力をつける。 ・自らの人生を振り返り、表現する力を養う。 ・自分の体験を生き生きと描写する表現力を身につける。 ・お勧めの本を選び、その本を紹介する。自分の発表について自己評価をするとともに、他者の発表を聞き、評価をつける。		
後期	・「相棒」(小説) ・犬も歩けば棒に当たる (評論) ・百人一首 ・「こころ」(小説)		・小説世界を味わい、自らの人生の体験と重ね合わせながら、人間や社会についての認識を深める。 ・様々な心情描写、表現方法、登場人物の心の模様を読み取る力を養う。 ・表現や展開を的確に読み取り、主題を理解し、考えを深める。 ・百人一首 (和歌) に親しみ、校内カルタ大会の練習をする。 ・様々な心情描写、表現方法、登場人物の心の模様を読み取る力を養う。		
観点別評価及びその配点					
観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
趣旨	国語で伝え合う力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	・出席の状況 ・提出物の提出状況及びその内容 ・漢字小テスト	・授業中の発表、質問等の内容 ・生活体験作文やブックトークの発表や、相互評価のへ取り組み	・授業中における作文や感想文の内容 ・生活体験作文やブックトークの内容	・学習活動における発言内容や態度 ・授業における読解問題への取り組み ・定期調査内の「読む能力」を問う問題	・定期調査内の「知識・理解」を問う問題 ・北高検定
配点 (pt)	200	100	100	100	500
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10 段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
1. こつこつと漢字学習を続けていくことで入試、入社試験の学力を身に付けることができる。 2. 出来るだけたくさんの文に親しみ、読む機会を持つ。 3. 発言の機会を得たときは積極的に挑戦する。					

令和3年度 国語表現 シラバス

科目名	国語表現	単位数	2 単位	対象 部・年次	1・2 部 4 年次
使用教材					
教科書等	『国語表現』（大修館書店）			副教材	『常用漢字クリア』（尚文出版）
学習の目標					
国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。					
学習計画					
学期	学習内容		学習のねらい		
前期	・整った文を書く ・わかりやすい文を書く ・文章のつなぎ方 ・相手や場面に応じた会話 ・言葉遣い ・小論文 ・生活体験発表作文 ・ブックトーク		・伝えたい内容を、相手に正確に伝えることができるようにする。 ・接続詞の使い方を学ぶことで、論理的な文章を構成する。 ・他者の発話の意図を汲み取り、正確な返答ができるようにする。 ・基本的な書き方を理解し、筋道を立てて短文を書けるようにする。 対立意見を想定し、より強い説得力を持つ文章が書けるようにする。 ・自己の主張や感動などが効果的に伝わるように、論理の構成や描写の仕方などを工夫して書き、発表する。 ・お勧めの本を選び、本についての説明を考え、自分の発表について自己評価し、他者の発表を聞き、評価をつける		
後期	・自己分析 ・討論 ・キャッチコピーを考える ・百人一首		・自己を客観的に捉え、自己アピールをできるようにする。 ・自身の主張を的確に伝えるとともに、様々な意見を聞き、多角的な視点を身に付ける。 ・限られた文字数で、魅力的なキャッチコピーを考え、効果的な伝え方を身に付ける。 ・百人一首（和歌）に親しみ、校内カルタ大会の練習をする。		
観点別評価及びその配点					
観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
趣旨	国語で伝え合う力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりできる。	相手や目的、意図に応じて適切な表現で文章を書き、自分の考えをまとめることができる。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	・学習活動への出席、学習姿勢や態度、発言内容 ・小テストへの取り組みや、提出物の提出状況	・授業中の発問に対する発表の内容 ・生活体験作文やブックトークの発表の内容や他者評価の内容	・授業中のレポート、感想文、生活体験作文の内容 ・定期考査の中に「書く能力」を問う問題を出題する。	・授業中の課題内容 ・定期考査の中に「読む能力」を問う問題を出題する。	・定期考査の中に「知識・理解」を問う問題を出題する ・北高検定
配点(pt)	200	100	100	100	500
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10 段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
1. 授業中の課題にしっかりと取り組むこと。 2. 漢字学習を続けることで、社会に出て困らない漢字力を養うこと。 3. 自分の考えや意見を伝えることができるように、発表に対して苦手意識を持たないようにすること。					

令和3年度 国語探究 シラバス

科目名	国語探究	単位数	3 単位	対象 部・年次	1 ・ 2 部 3 ・ 4 年次選択
使用教材					
教科書等	なし			副 教 材	
学習の目標					
大学 ・ 専門学校 ・ 就職の問題傾向にあわせた文の読み方が出来るようになる。					
学習計画					
学期	学習内容		学習のねらい		
前期	・ 評論読解 ・ 小説読解 ・ ことば、漢字の基礎教養		・ 評論文を使用して文章構成などに留意しながら問題を解く。 ・ 登場人物の心情を考えながら問題文を読む。 ・ 就職、進学に必要な基礎知識を身につける。		
後期	・ 評論読解 ・ 小説読解 ・ ディベート ・ ことば、漢字の基礎教養		・ 評論文を使用して文章構成などに留意しながら問題を解く。 ・ 登場人物の心情を考えながら問題文を読む。 ・ 身近な題材からテーマを選び、それについてディベートをする。 ・ 就職、進学に必要な基礎知識を身につける。		
観点別評価及びその配点					
観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	読み取った内容を端的にまとめて書き表したり、自分の考えをまとめ、深めたりしている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	・ 授業中の態度 ・ 出席の状況 ・ 提出物の提出状況及びその内容	・ 話し合いやディベートの場での発言 ・ 他の人の考えを聞く態度	・ 定期考査の中に「書く能力」を問う問題を出題する。 ・ 提出させる要約の内容	・ 評論、小説の読解	・ 定期考査及び小テストの中に「知識・理解」を問う問題を出題する。
配点 (pt)	2 0 0	1 0 0	1 0 0	1 0 0	5 0 0
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10 段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
1. 授業中に問題を解く手順を説明するので、それを実践してみること。 2. 出来るだけたくさんの文に親しみ、読む機会を持つこと。 3. 失敗をおそれず、発言の機会を持ったときは積極的に挑戦すること。					

令和3年度 漢字入門 A シラバス

科目名	漢字入門 A	単位数	1 単位	対象 部・年次	1・2・3 部 自由選択科目
使用教材					
教科書等	なし			副 教 材	『常用漢字クリア』（尚文出版）
学習の目標					
・ 自ら学ぶ態度を身につける。 ・ 漢字の基礎知識を身に付け、漢字能力の定着を目指す。					
学習計画					
学期	学習内容		学習のねらい		
前期	・ 確認テスト ・ 漢字検定対応のプリント学習を行う。 ・ 小テスト		・ 確認テストを行い、個々の能力を確認する。 ・ 漢字検定 6 級程度から学習を始め、5 級、4 級と学習を進めることにより、基礎学力の定着を目指す。間違いやすい漢字を確認し、漢字に対する理解を深める。漢字の繰り返し練習を行い、漢字能力を定着させる。 ・ 毎時間小テストを行い、生徒に達成感を味わわせる。		
後期	・ 漢字検定対応のプリント学習を行う ・ 小テスト		・ 前期に引き続き、漢字検定 3 級、準 2 級程度の学習を行う。繰り返しの学習により、漢字能力を定着させる。間違いやすい漢字を確認し、漢字に対する理解を深める。漢字の繰り返し練習を行い、漢字能力を定着させる。 ・ 毎時間小テストを行い、生徒に達成感を味わわせる。		
観点別評価及びその配点					
観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
趣旨	現代日本語を使う言語生活の中で、漢字学習が大切であることに気づき、しっかりと学習に取り組む態度である。	身についた言葉を理解し、実際の使用するべき場面で正しく使い分けをすることができる能力が身についている。	与えられた課題に対し、言葉や漢字を適切に選び出し書くことができるか。正しい漢字を書くことができる。	問題の前後の意味から適切な漢字を選び出すことができる。漢字を適切に読むことができる。	漢字の読み方や意味がしっかりと理解出来ているか。書き取りに適切な文字を使用できる。
評価の方法	・ 出席の状況 ・ 提出物の提出状況及びその内容	・ 授業中の質問の内容	・ 授業プリントの提出状況及びその内容 ・ 小テストの中に「書く能力」の技能を問う問題を出題する。	・ 授業プリントの提出状況及びその内容 ・ 小テストの中に「読む能力」の技能を問う問題を出題する。	・ 定期考査、確認テストの中に「知識・理解」の技能を問う問題を出題する。
配点 (pt)	200	100	100	100	500
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10 段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
1. 毎回の授業にしっかりと出席し、授業内で課題をこなすこと。 2. 漢字に親しみをもち、漢字を使うことに意欲的になること。 3. 学んだことを将来に生かそうという態度を身につけること。					

令和3年度 小論文講座 シラバス

科目名	小論文講座	単位数	1 単位	対象 部・年次	1・2 部 自由選択科目
使用教材					
教科書等	なし			副 教 材	第一学習社『1 日 1 0 分言語力ドリル 読む』
学習の目標					
自分の意見がしっかり伝わる小論文が書けるようになる。					
学習計画					
学期	学習内容			学習のねらい	
前期	・ 書くための練習 ・ 起承転結 ・ 自分で書く ・ 言葉の学習 ・ 漢字の習得のための練習			・ 文章表現・表記ルールの確認をする。 ・ 原稿用紙の使い方の練習をする。 ・ 根拠がある文章の書き方を学ぶ。 ・ 自分の意見を根拠立てて書く練習をする。 ・ 小論文作成上の基本語彙を理解し、使い方を学ぶ。 ・ 漢字の習得を目指して練習をおこなう。	
後期	・ 自分で書く ・ 言葉の学習 ・ 意見文を書く ・ 小論文演習 ・ 漢字の習得のための練習 ・ 年間のまとめ			・ 設定されたテーマに沿って意見文を書く。 ・ 小論文作成上の基本語彙を理解し、使い方を学ぶ。 ・ 設定されたテーマに沿って意見文を書く。 ・ テーマ別小論文の書き方を学ぶ。 ・ 漢字の習得を目指して練習をおこなう。 ・ 年間のまとめをおこなう。	
観点別評価及びその配点					
観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字や意味などについて理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	・ 授業中の態度 ・ 出席の状況 ・ 提出物の提出状況及びその内容	・ 発表時の話し方、質問の仕方、及びその内容 ・ 意見文を書く際の話し合いの内容	・ 授業中の課題への取り組み及びその内容 ・ 漢字練習プリントや漢字小テスト	・ 授業中の課題への取り組み及びその内容 ・ 課題文の要約 ・ 課題文の読解	・ 定期考査
配点 (pt)	2 0 0	1 0 0	1 0 0	1 0 0	5 0 0
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10 段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
1. わからない言葉が出てきたら辞書を引いて調べる。 2. 学んだことを、プリント等に正確に記録し、次からの学習に生かす準備をする。 3. 日ごろから、本や新聞などに親しみ、文章を読むように心がける。					

令和3年度 国語総合 シラバス

科目名	国語総合	単位数	3 単位	対象 部・年次	3 部 1 年次
使用教材					
教科書等	『新編国語総合』（東京書籍）			副教材	『常用漢字クリア』（尚文出版）
学習の目標					
国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。					
学習計画					
学期	学習内容		学習のねらい		
前期	・ルリボシカミキリの青（現代文） ・とんかつ（現代文） ・空をかついで（詩） ・生活体験発表作文（表現） ・ブックトーク（表現）		・随想を読んで、筆者のものの見方や感じ方を読み取る。 ・小説の主題を読み取る。 ・詩を通して筆者が伝えたかった思いに迫り、自らの考えを深める。 ・具体例などを示しながら、自分の意見を論理的に文章にまとめる。 ・生徒の主体的な活動により、伝える力、受け取る力というコミュニケーションの基礎を習得させる。		
後期	・羅生門（現代文） ・春風や（俳句） ・古文の言葉と仮名遣い（古文） ・児のそら寝（古文） ・芥川（古文） ・折々のうた（古文） ・訓読の基礎（漢文） ・借虎威（漢文）		・登場人物の心情を的確にとらえるとともに、物語の展開を理解する。 ・俳句の形式やリズム、表現方法を理解し、実際に作ってみる。 ・古文と現代文の違いを知り、古文を読む基礎を学ぶ。説話のおもしろさを通して、古文の世界に親しむ。 ・古文の表現に慣れ、文章の内容を読み取る。登場人物の関係を読み取る。 ・百人一首などを通じて、和歌の表現を味わい、和歌の世界に親しむ。 ・漢文を読むための基本的なきまりを理解する。 ・格言や故事を読んで、漢文の世界に親しむ。		
観点別評価及びその配点					
観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	・出席状況、学習活動への参加姿勢や態度 ・学習活動の発言内容や態度、レポート・感想・作成文章の内容 ・ファイル提出による学習状況確認	・授業中の発問に対する発表の内容 ・生活体験作文やブックトークの発表の内容	・授業プリント・レポートの内容 ・生活体験作文への取り組み状況と内容 ・定期考査の中に「書く能力」を問う問題を出題	・授業中における学習活動への参加姿勢や態度、学習活動の発言内容や態度 ・定期考査の中に「読む能力」を問う問題を出題	・定期考査の中に「知識・理解」を問う問題を出題 ・北高検定
配点(pt)	2 0 0	1 0 0	1 0 0	1 0 0	5 0 0
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10 段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
1. 授業中に読解の方法・問題を解く手順を紹介するので、それを実践してみること。 2. 出来るだけたくさんの文に親しみ、読む機会を持つこと。 3. 失敗をおそれず、発言の機会を得たときは積極的に挑戦すること。					

令和3年度 国語総合 シラバス

科目名	国語総合	単位数	2 単位	対象 部・年次	3 部 2 年次
使用教材					
教科書等	『新編国語総合』（東京書籍）			副 教 材	『常用漢字クリア』（尚文出版）
学習の目標					
国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。					
学習計画					
学期	学習内容		学習のねらい		
前期	・鍋洗いの日々（現代文） ・二十億光年の孤独（詩） ・生活体験発表作文（表現） ・ブックトーク（表現）		・筆者の労働に対する考えを読み取り、自己の労働観を見つめなおす。 ・詩の表現を味わい、それが生み出す効果を理解する。 ・他者の前で自分の作文を発表する力をつける。 ・お勧めの本を選び、本についての説明を考える。自分の発表について自己評価をする。他者の発表を聞き、評価をつける。		
後期	・夢十夜（現代文） ・その子二十（短歌） ・徒然草（古文） ・枕草子（古文） ・唐詩（漢文） ・論語（漢文） ・世説新語（漢文）		・表現の特色に注意しながら小説を読み、小説に親しむ。 ・短歌の形式やリズム、表現方法を理解し、短歌を味わう。 ・古文に親しむ。音読をし、物語を理解する。古文のおもしろさを味わう。 ・作者が挙げるうつくしきものを理解する。その特徴を考える。 ・漢文に親しむ。返り点を理解し、漢文を読む力をつける。 ・句法を確認する。訓読をし、現代語訳をする。 ・漢文を味わう中で、現代に通じる教訓は何かを学ぶ取る。		
観点別評価及びその配点					
観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語の向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	・授業への取り組み 学習姿勢や態度、出席状況など	・授業中の発問に対する発表の内容 ・生活体験作文やブックトークの発表の内容	・授業プリントの書き取りやレポート感想文などの作成した文章の内容	・学習活動における発言内容や態度 ・定期考査の中に「読む能力」を問う問題を出題	・定期考査の中に「知識・理解」を問う問題を出題 ・小テストの中に「知識・理解」を問う問題を出題 ・北高検定
配点(pt)	200	100	100	100	500
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10 段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
1. 授業中に読解の方法・問題を解く手順を紹介するので、それを実践してみること。 2. 出来るだけたくさんさんの文に親しみ、読む機会を持つこと。 3. 失敗をおそれず、発言の機会を得たときは積極的に挑戦すること。					

令和3年度 現代文 A シラバス

科目名	現代文 A	単位数	2 単位	対象 部・年次	3 部 3 年次
使用教材					
教科書等	『現代文 A』（第一学習社）			副 教 材	『常用漢字クリア』（尚文出版）
学習の目標					
国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。					
学習計画					
学期	学習内容		学習のねらい		
前期	・デューク（小説） ・生命は（詩） ・生活体験発表作文（表現） ・ブックトーク（表現）		・情景描写や表現方法から、登場人物の心情を読み取る力を養う。 ・詩の読解を通じて、日本語の豊かな表現を味わう。 ・自らの人生を振り返り、表現する力を養う。 ・自分の体験を生き生きと描写する表現力を身につける。		
後期	・数え方で磨く日本語（評論） ・山月記（小説） ・鼻（小説） ・創作の楽しみ（短歌・俳句）		・論理的文章の構成を理解した上で、筆者の考えを読み取る力を養う。 ・筆者の主張について、具体例を用いて説明する力を身につける。 ・小説世界を味わい、自らの人生の体験と重ね合わせながら、人間や社会についての認識を深める。 ・短歌と俳句のきまりを理解した上で、自ら創作する楽しさを味わう。		
観点別評価及びその配点					
観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	・出席の状況 ・提出物の提出状況及びその内容 ・漢字小テスト	・授業中の発表、質問の内容 ・生活体験作文やブックトークの発表や、相互評価の取り組み	・授業における作文や感想文の内容 ・生活体験作文やブックトークの内容 ・授業中の説明問題への取り組み	・学習活動における発言内容や態度 ・授業における読解問題への取り組み ・定期考査の中に「読む能力」を問う問題を出題する	・定期考査の中に「知識・理解」を問う問題を出題する ・北高検定
配点 (pt)	200	100	100	100	500
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10 段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
1. こつこつと漢字学習を続けていくことで入試、入社試験の学力が身に付けられる。 2. 出来るだけたくさんの文に親しみ、読む機会を持つ。 3. 失敗をおそれず、発言の機会を得たときは積極的に挑戦する。					

令和3年度 国語表現 シラバス

科目名	国語表現	単位数	2 単位	対象 部・年次	3 部 4 年次
使用教材					
教科書等	『国語表現』（大修館書店）			副 教 材	『常用漢字クリア』（尚文出版）
学習の目標					
国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。					
学習計画					
学期	学習内容		学習のねらい		
前期	・ 文章を書く能力や正しい表現方法を身につける ・ 声とコミュニケーション ・ 原稿用紙の使い方 ・ 自己分析 ・ 生活体験発表作文		・ 相手や目的に応じて、紹介、連絡、依頼などのための文章を書く。 ・ 様々な表現についてその効果を吟味したり、書いた文章を互いに読み合 って批評したりして、自分の表現や推敲に役立てるとともに、ものの見 方、感じ方、考え方を豊かにする。 ・ 整った文章、分かりやすい文章が書けるようにする。 ・ 相手や目的に応じて、紹介、連絡、依頼などのための話をしたり、聞き 取ったりする能力を養う。 ・ 原稿用紙の使い方を学ぶ。 ・ 自分について見つめ直し、自己理解を深める。 ・ 主張や感動などが効果的に伝わるように、論理の構成や描写の仕方など を工夫して書き、発表する。		
後期	・ ブックトーク ・ 手紙文 ・ 敬語や挨拶などによるコミュニ ケーション ・ 百人一首		・ お勧めの本を選び、その本を紹介する。自分の発表について自己評価を するとともに、他者の発表を聞き、評価をつける。 ・ 目的や相手に応じて、言葉遣いや文体など表現を工夫し効果的に書く。 ・ 社会に出て行く準備として、敬語表現や挨拶などの基礎を身に付ける。 ・ 百人一首（和歌）に親しみ、校内カルタ大会の練習をする。		
観点別評価及びその配点					
観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
趣旨	国語で伝え合う力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりできる。	相手や目的、意図に応じて適切な表現で文章を書き、自分の考えをまとめることができる。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	・ 学習活動への出席、学習姿勢や態度、発言内容 ・ 小テストへの取り組みや、提出物の提出状況	・ 授業中の発問に対する発表の内容 ・ 生活体験作文やブックトークの発表の内容や他者評価の内容	・ 授業中のレポート、感想文、生活体験作文の内容 ・ 定期考査の中に「書く能力」を問う問題を出題する	・ 授業中の課題内容 ・ 定期考査の中に「読む能力」を問う問題を出題する	・ 定期考査の中に「知識・理解」を問う問題を出題する ・ 北高検定
配点 (pt)	200	100	100	100	500
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10 段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
1. 授業中の課題にしっかりと取り組むこと。 2. 漢字学習を続けることで、社会に出て困らないようにする漢字力を養うこと。 3. 自分の考えや意見を伝えることができるように、発表に対して苦手意識を持たないようにすること。					

令和3年度 国語基礎 シラバス

科目名	国語基礎	単位数	1 単位	対象 部・年次	3 部 自由選択科目
使用教材					
教科書等	なし			副 教 材	自作プリント
学習の目標					
・ 自ら学ぶ態度を身につける。 ・ 漢字能力の定着を目指す。					
学習計画					
学期	学習内容		学習のねらい		
前期	・ 常用漢字のプリント学習を行う。		・ 漢字の繰り返し練習を行い、漢字能力を定着させる。国語辞典・漢和辞典を使いながら、将来漢字を自由に読み書きできるようにする。		
後期	・ 常用漢字のプリント学習を行う。		・ 漢字の繰り返し練習を行い、漢字能力を定着させる。国語辞典・漢和辞典を使いながら、将来漢字を自由に読み書きできるようにする。		
観点別評価及びその配点					
観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
趣旨	現代日本語を使う言語生活の中で、漢字学習が大切であることに気づき、しっかりと学習に取り組む態度であるか。	身についた言葉を理解し、実際の使用するべき場面で正しく使い分けをすることができる能力が身についているか。	与えられた課題に対し、言葉や漢字を適切に選び出し書くことができるか。正しい漢字を書くことができるか。	問題の前後の意味から適切な漢字を選び出すことができる。漢字を適切に読むことができる。	漢字の読み方や意味がしっかりと理解出来ているか。書き取りに適切な文字を使用できるか。
評価の方法	・ 出席の状況 ・ 提出物の提出状況及びその内容	・ 授業中の質問の内容	・ 授業プリントの提出状況及びその内容	・ 授業プリントの提出状況及びその内容	国語辞典・漢和辞典をうまく使えているか、その状況をみる
配点 (pt)	200	100	100	100	500
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10 段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
1. 毎回の授業にしっかりと出席し、授業内で課題をこなすこと。 2. 漢字に親しみをもち、漢字を使うことに意欲的になること。 3. 学んだことを将来に生かそうという態度を身につけること。 4. ひたすら、国語辞典・漢和辞典を引き、調べるという作業をこつこつ積み重ねることで、繰り返しの学習力を身につける。					

令和3年度 漢字入門B シラバス

科目名	漢字入門 B	単位数	2 単位	対象 部・年次	後期 1 年次
使用教材					
教科書等	なし			副 教 材	『常用漢字クリア』（尚文出版）
学習の目標					
・ 自ら学ぶ態度を身につける。 ・ 漢字能力の定着を目指す。					
学習計画					
学期	学習内容		学習のねらい		
前期	・ 漢字検定対応のプリント学習を行う ・ 漢字小テストを行う		・ 漢字の繰り返し練習を行い、漢字能力を定着させる。 ・ 漢字学習に興味を持たせる。 ・ 毎時間漢字小テストを行い、学習した内容を即時アウトプットさせる。		
後期	・ 漢字検定対応のプリント学習を行う ・ 漢字小テストを行う		・ 前期に引き続き、漢字の繰り返し練習を行い、漢字能力を定着させる。 ・ 漢字学習に興味を持たせる。 ・ 毎時間漢字小テストを行い、学習した内容を即時アウトプットさせる。 ・ 生徒同士で小テストを採点することで、間違えやすい漢字についての理解を深める。 ・ より難易度の高い漢字にも取り組ませる。		
観点別評価及びその配点					
観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
趣旨	現代日本語を使う言語生活の中で、漢字学習が大切であることに気づき、しっかりと学習に取り組む態度である。	身につけた言葉を理解し、実際の使用するべき場面で正しく使い分けをすることができる能力が身についている。	与えられた課題に対し、言葉や漢字を適切に選び出し書くことができるか。正しい漢字を書くことができる。	問題の前後の意味から適切な漢字を選び出すことができる。漢字を適切に読むことができる。	漢字の読み方や意味がしっかりと理解出来ているか。書き取りに適切な文字を使用できる。
評価の方法	・ 出席の状況 ・ 提出物の提出状況及びその内容	・ 授業中の質問の内容 ・ 授業課題への取り組み	・ 授業プリントの提出状況及びその内容 ・ 授業課題への取り組み	・ 授業プリントの提出状況及びその内容 ・ 授業課題への取り組み	・ 定期考査 ・ 小テスト
配点 (pt)	200	100	100	100	500
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10 段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
1. 毎回の授業にしっかりと出席し、授業に積極的に取り組むこと。 2. 漢字に親しみをもち、漢字を使うことに意欲的になること。 3. 学んだことを将来に生かそうという態度を身につけること。					